

GLOBAL GELATIN SPECIALIST

 Nitta Gelatin Inc.



新田ゼラチンは環境と生命を大切にします
We Live for Your Life

株主通信

創刊号

証券コード：4977

 **新田ゼラチン株式会社**

第73期 ご報告

2011年4月1日から2012年3月31日まで



グローバル・ゼラチンスペシャリストとして、 アジア圧倒的 No.1、世界オンリーワン企業を目指します！

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げますと共に、日頃からの温かいご支援に厚くお礼申し上げます。

当社は、社名の通りゼラチンの製造・販売を主力とした、国内シェアトップ、世界シェア第4位のアジア最大のグローバル・ゼラチンスペシャリスト・カンパニーです。

90年以上に及ぶゼラチン製造のノウハウを活かし、食品や総菜、カプセル向けゼラチン、健康食品用コラーゲンペプチド、コラーゲンなどの素材、及び、これら素材を活用したコラーゲンケーシング、食品材料、接着剤など、幅広い商品ラインアップをグローバルに提供しています。

また、安全で高品質な原料の安定確保のため、1975年インドでゼラチン原料である牛骨オセインの生産開始を手始めに、米国・カナダに製造・販売拠点を設けるなど、海外にもいち早く進出してきました。

近年は、素材販売にとどまらず、ゼラチンやコラーゲンの利用方法や最終製品をメーカーに提案するためのアプリケーションラボを国内・海外に設置し、現地ニーズに応じた製品開発・販売強化を推進しています。

更に、将来に向けた研究開発により、ヒト組織再生誘導の臨床研究に用いる薬剤を染みこませたハイドロゲルの素材として高純度のゼラチンを開発し再生医療の発展にも大いに貢献しています。

●2012年3月期経営成績について

当社グループは、「お客様第一主義」「グローバル&イノベーション」「選択と集中」を経営の基本方針とし、新製品開発や新市場開拓に積極的に取り組み、お客様にご満足いただける製品・サービス提供に注力しました。国内では、震災需要に加えコンビニ総菜・デザートや製菓類を中心

とする食品市場の好況に支えられ、ゼラチン、食品材料が好調に推移しました。反面、コラーゲンペプチドは、震災による健康栄養食品に対する消費マインドの低下や市場の競争激化、アジア地域の輸出制限等から売上が停滞しました。海外においては、特に北米の食品・カプセル用ゼラチンやケーシングが好況に推移しました。

以上の結果、売上高27,763百万円(前期比0.6%減)、営業利益2,015百万円(前期比35.6%増)、経常利益2,002百万円(前期比44.8%増)、当期純利益1,375百万円(前期比30.8%増)となりました。

●来期における業績全般の見通しについて

長期化する円高やデフレの進行等、経済環境は依然不透明で厳しい状況が続くものと推測します。国内では少子高齢化にともない食生活や消費構造の変化が進み、海外では特にアジア地域での所得向上により、消費市場が拡大するなど市場環境は日々変化しています。このように多様化する環境の中で将来にわたって持続的に成長するためには、これらの市場変化を素早く読み取り、グローバルな視点からスピード感と競争力をもって事業を推進することが不可欠であると考えています。

また、より一層の省エネ・省資源、効率化を進め、日本における電力の供給制限への対応をはじめ、グループ全体でCO₂削減に取り組むと

共に、国際競争力のある製品コストを実現します。

素材開発力に加え、アプリケーション力を活かして高付加価値製品の日本での販売拡大を進めると共に、海外市場への展開を行います。海外では製品供給能力をさらに増強し、北米、中国・アジアでゼラチン、コラーゲンケーシング、コラーゲンペプチドの販売拡大を進めます。

●株主還元について

当期の期末配当金につきましては1株につき8円を実施させていただきます。また、株主優待についても継続的に実施することで、皆様のご支援にお応えしてまいる所存です。

株主の皆様には、当社の事業活動にご理解をいただき、今後とも一層のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2013年3月期の連結業績見通し (百万円)

売上高	28,900(前期比4.1%増)
営業利益	2,070(前期比2.7%増)
経常利益	2,100(前期比4.9%増)
当期純利益	1,370(前期比0.4%減)

新田ゼラチン株式会社
代表取締役社長 曾我 憲道



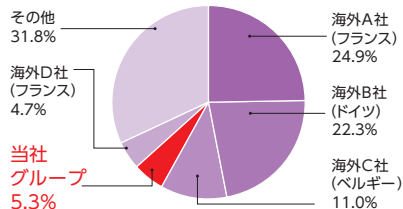
アナリストの視点から見る新田ゼラチン [PartI]

新田ゼラチンは、「アジア圧倒的No.1、世界オンリーワン」企業に向けて、昨年の株式上場を機に新たなスタートを切りました。株主の皆様へ、世界を目指す新田ゼラチンをより一層ご理解いただくために、日本を代表するアナリスト鈴木行生氏と当社代表取締役社長の曾我憲道による対談を実施しました。第一回目は、新田ゼラチンの“特色・強み”を中心にお送りいたします。

鈴木 貴社は、アジア最大の市場規模を有する日本においてナンバーワンプレイヤーとして、そして世界市場では第4位（ゼラチン生産高）に位置しています。ゼラチンの生産能力で見ると、世界全体の5%程度に留まっており、先行する欧州発のグローバルプレイヤー上位3社との間においては依然大きく水を空けられています。

曾我 元来ゼラチンは、食肉由来の食品素材として欧州で誕生したことから、上位グローバ

世界のゼラチン製造者と生産能力
世界第4位アジア最大





ルプレイヤーは欧州企業で占められています。しかし彼らは、ゼラチンのみの専業であり、当社のように次世代に向けての成長

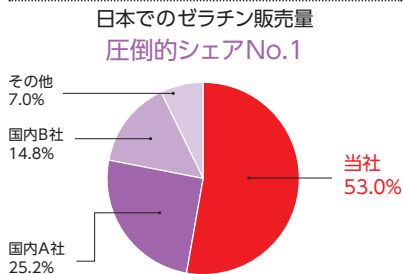
ドライバーとなる製品を扱っていません。

鈴木 具体的に、トップ3とどう違うのかについて説明して下さい。また、貴社が上位グローバルプレイヤーに食い込むことは可能とお考えでしょうか？

曾我 彼らはゼラチン専業かそれに近い企業です。これに対し当社は、ゼラチンの他に、コラーゲンペプチド、コラーゲンケーシングと、世界商品となりうる成長ドライバーを有しています。更に、これら全ての製品を原料開発から

最終製品まで供給する体制を持っているのは、世界でも当社だけです。現在、生産の増強に向けた設備投資を積極的に進めており、近い将来においては、収益性において十分にトップ3に食い込めると考えています。

鈴木 次に、国内の競合他社についてお伺いします。貴社は現在、日本におけるゼラチン販売量トップのポジションにありますが、今後はどのようにお考えでしょうか？



曾我 原料からゼラチンまで一貫して生産・販売できるのは、日本では当社だけです。また、最終商品を提案する力やお客様のニーズにかなう新製品を作り出すことができるのも当社だけです。このように、市場ニーズに応じた製品・サービスをご提供するのが新田ゼラチンです。

北米、中国、インドでも同じビジネスモデルを展開しています。

鈴木 貴社は、日本企業でいち早くインドに拠点を設立されました。私が知っている中でも、最も早い時期の進出かと思います。それを可能とした要因はどこにあるのでしょうか？





曾我 私達が海外進出において一番大事にしていることは、良きパートナーと巡り合えるかという部分です。それ無くしては不可能と考えています。インドは、早い時点でこの機会に恵

まれたということです。ニッタゼラチンインディアLtd.は、1975年インド南西のケララ州に設立しました。ここでは、ゼラチンの生産を行っており、大阪工場に次ぐ規模を誇っています。皆様はご存じないかと思いますが、インドは、世界第4位の牛肉輸出国で、牛が3億頭もいます。米国の1億頭に比べて多く、当社ゼラチンの主要原料拠点です。

鈴木 インド以外での海外展開はどうですか？

曾我 1975年インド、1979年米国、1990

年カナダ、そして2010年中国・広東、2011年中国・上海と進出してきました。今では、海外の生産拠点は9ヵ所、販売会社は2社に成長しています。全て良きパートナーと出会えたからと感謝しています。

鈴木 「アジア圧倒的No.1、世界オンリーワン」への道は、見えて来たというところでしょうか。

具体的な経営方針・戦略については、次回お聞きするとして、最後に、貴社の特色・強みを一つだけ挙げて下さい。

曾我 あえて一つということであれば…、産業構造の変遷に先取り、追隨して100年近く続いていることです。いわゆる「進化企業」です。この間、畜産業の副産物を利用し、付加価値の高い製品を作り出すことは変わりません。そして、コラーゲン、ゼラチンに関わる膨大なノウハウを蓄積してきました。時代と共にアプリケーションは日々進化しますが…強いていえば「鉄」と同じような基礎的な原料で、どんど

ん高機能化しています。お話ししたように、当社はこうしたゼラチン、コラーゲンペプチド、コラーゲンケーシングを原料から一貫生産・販売できる唯一の会社です。これに加え、グローバル社員がおり、日常的に英語でコミュニケーションして、業務を進めていることが、最大の特色であり強みであると考えています。

※次回、「新田ゼラチンの成長戦略について」を掲載予定。

PROFILE

鈴木 行生(すずき ゆきお)

東京理科大学大学院理工学研究科経営工学専攻修士課程修了。1975年(株)野村総合研究所入社。自動車、重工業機械、鉄鋼、国際商品市況、合繊等の産業を担当。東京、大阪、パリでの企業アナリストを経て、1996年取締役企業調査部長。1997年野村證券(株)取締役金融研究所長。2000年野村アセットマネジメント(株)常務執行役員調査本部長。2005年野村ホールディングス(株)取締役。2007年現公益社団法人日本証券アナリスト協会会長。2010年7月(株)日本ベル投資研究所を設立し、IRアナリスト(Independent Research Analyst)として活動中。

東京証券取引所市場第二部上場

2011年12月20日、株主の皆様のご支援のおかげで上場することができました。

これを機に、役員はじめ社員一同決意を新たに、より一層社業の発展に努め、上場企業としての社会的責務をはたし、皆様方のご期待にお応えすべく努力してまいります。



ニッタゼラチンインディアLtd.社長がケララ州企業家50名に選出

ニッタゼラチンインディアLtd.取締役社長 G. Suseelan (スシーラン)が、インド ケララ州の経済発展に寄与した、企業家50名に選ばれ、表彰(Award of Excellence to 50 Entrepreneurs)を受けました。

ニッタゼラチンインディアLtd.は、1975年ゼラチン原料安定供給のため設立し、1999年からはゼラチン製造もしています。



ニッタゼラチンカナダInc. 『省エネ活動リーダーシップ賞』受賞

2012年1月、カナダのガス供給会社(Enbridge)より「Energy Efficiency Leadership Award」を受賞しました。

蒸気を熱源とした加温設備の見直し、排熱を回収して再利用するなど、ガス使用量を大幅削減した実績が高く評価されました。

昨年にもトロント省エネ大賞(2011 Green Toronto Award)を受賞しています。今後もより一層の省エネルギー、CO₂削減に取り組んでまいります。



上海新田明膠有限公司 設立

2011年9月、長年、中国で食品素材の販売経験豊富な統園国際有限公司(台湾)との共同出資で設立しました。

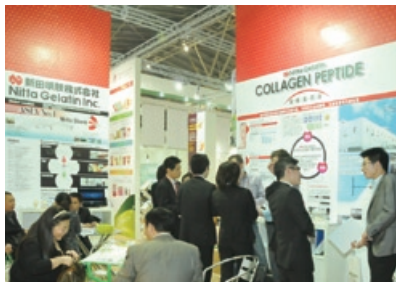
当社グループの中国事業拡大の拠点として広東百維生物科技有限公司で生産する魚コラーゲンペプチド、グループ各社製品の中国国内販売を行います。



中国国際食品添加剤和配料展覧会 (Food Ingredients China 2012) 出展

2012年3月28日～30日、中国・上海で開催したFood Ingredients China 2012に出展しました。この展示会は、食品添加物・食品素材関連では世界最大級で、当社ブースにも約7,000人が来られました。

当社コラーゲンペプチドの品質、機能的な研究成果への評価も高く、活発な商談が行われました。



新キャラクター登場

今後、ナビゲータとして活躍します！



ゼラちゃん

ゼラチンの製造中、ひょんなことから生まれた新生物。チャレンジ精神旺盛で性別不詳、潜在能力不詳。いつのまにか爺さまの家に住み着いてしまった。なんにでも興味があり、解らないことがあれば、爺さまに質問する。

源治郎爺さま

永年、ゼラチン・コラーゲンの製造に関わってきた研究者。ゼラちゃんにあって、研究心が再燃。ゼラちゃん誕生の秘密を解き明かすことが、人類の役にたつのではないかと奮闘中。



コラーゲンペプチド補給食品の「コラゲネイド」(つめかえ用パック)が モンドセレクション2012【最高金賞】を 初出展で受賞しました。

国際的な品質評価機関である「モンドセレクション (Monde Selection)」(本部:ベルギー)のダイエット及び健康製品カテゴリに出展し、品質と機能が高く評価されました。

コラゲネイドつめかえ用パック(110g)

安心・安全の純粋コラーゲンペプチド100%粉末。2001年に発売以来、ご愛用者様に支えられてきたロングセラー商品です。無味・無臭の溶けやすい顆粒タイプで、どんなお料理、お飲み物にも溶かしてお召し上がりいただけます。糖分・脂肪分ゼロですので、ダイエット中でも安心です。



美容と
健康にね!



コラーゲンペプチド健康食品

コラゲネイド
スティックタイプ
(2.5g×30本)

(純粋コラーゲンペプチドの
便利な分包タイプ)



コラーゲン化粧品(スキンケア)



モイストワン
(50g)

(オーストリッチ
コラーゲンの
美容液ジェル)

ゼラチンは日常生活の様々な

ゼラチンと言えばゼリーを考える人がほとんどではないかな。だが、ゼリー以外にもたくさんのものに利用されておるんじゃ。



おやつ・デザート

グミ

弾力食感で大好評。
ゼラチン(コラーゲン)
もたっぷり!



マシュマロ

ふんわり弾力食感。
バーベキューのお供に!



タブレット菓子

ロングセラー菓子に使用され、お口の中がすっきり爽やか!



デザート

ケーキショップやレストランのプロのパテシエも愛用!

ところでお役に立っています！

食事

餃子・小籠包

味付けしたゼラチンゼリーを具材に加えてジューシーに！



クリームコロッケ

ホワイトソースにゼラチンを入れると、成型時に作業性アップ！



レンジアップ総菜

スープ、ダシ、ソースをゼラチンで固めたコンビニ総菜は、美味しく、簡単、便利！



ラーメン

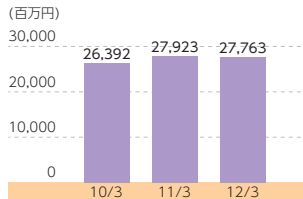
豚骨スープにゼラチンを加えると、深み、コクがアップ！



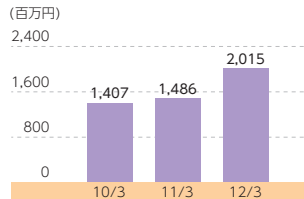
ゼラチンっていろいろなものに使われてすごいね！ゼラチンのことがもっと知りたくなかった。次回もたのしみにしてね！



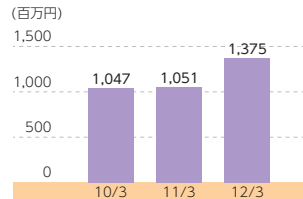
売上高



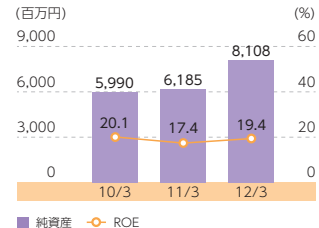
営業利益



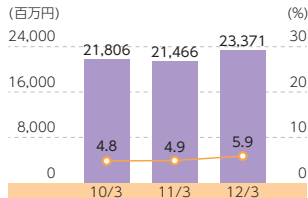
当期純利益



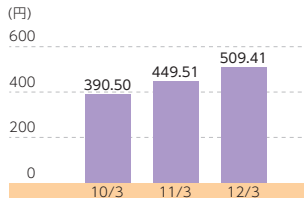
純資産/自己資本利益率 (ROE)



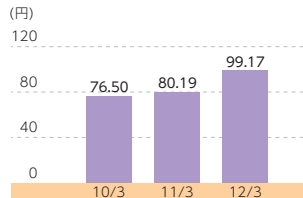
総資産/総資産利益率 (ROA)



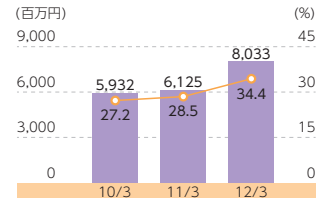
一株当たり純資産額 (BPS)※



一株当たり当期純利益金額 (EPS)※



自己資本/自己資本比率



■ 総資産 ○ ROA

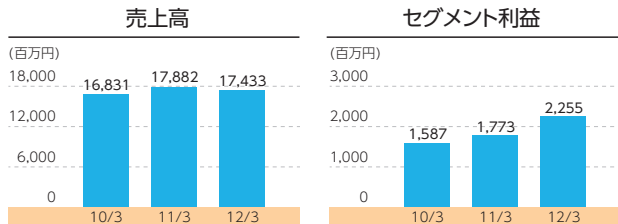
※当社は、2011年4月1日付で普通株式を株式1株につき2株の株式分割を行っています。このため、2010年3月期及び2011年3月期は、遡及適用し算出しています。

■ 自己資本 ○ 自己資本比率

コラーゲン素材事業

ゼラチンは、国内では食用ゼラチンが好調に推移しました。一方、カプセル用ゼラチンは、健康食品向けが堅調に推移し、写真用ゼラチンは、前期の売上高を維持しました。海外市場では、北米・アジアともカプセル需要は旺盛で売上は好調に推移しました。コラーゲンペプチドは、日本では売上が低迷しました。コラーゲンケーシングは、米国の畜肉製品市場の好況に支えられ、ソーセージ用が順調に推移しスナック用も堅調でした。

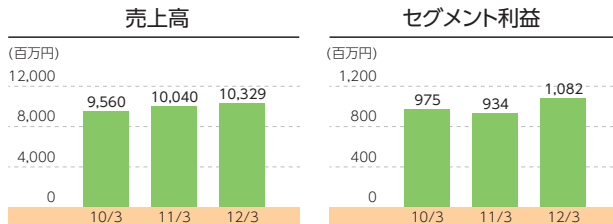
以上の結果、売上高17,433百万円(前期比2.5%減)、セグメント利益2,255百万円(前期比27.2%増)となりました。



フォーミュラソリューション事業

食品材料は、日本の食品市場の好況に支えられ、コンビニ向け製菓・デザート用ゲル化剤、ハム・ソーセージ向け畜肉製品品質安定剤が好調に推移しました。接着剤は、ホットメルト形接着剤について食品業向けを主とする包装用や建材用が堅調に推移しましたが、製本用は売上が減少しました。また、原材料高騰を背景に下期に製品価格の改定を行った結果、出荷数量は減少しましたが、売上高はほぼ前期水準を維持しました。

以上の結果、売上高10,329百万円(前期比2.9%増)、セグメント利益1,082百万円(前期比15.8%増)となりました。



会社概要

本社………… 〒556-0022
 大阪市浪速区桜川4丁目4番26号

創業………… 1918年1月

設立………… 1945年2月

資本金…… 1,577,121,250円

売上高…… 単体:205億円(2012年3月期)
 連結:277億円(2012年3月期)

従業員数… 単体:254名(2012年3月末現在)
 連結:592名(2012年3月末現在)

事業内容… 食用、医薬用、写真用ゼラチンの製造・販売。コラーゲンペプチドの製造・販売。コラーゲンケーシングの製造・販売。化粧品用、生体材料用、生化学用コラーゲンの製造・販売。ゲル化剤、安定剤等の食品材料の製造・販売。包装用、製本用、建材用、衛材用、自動車用接着剤の製造・販売。

事業所…… 国内4ヵ所

関連企業

Nitta Gelatin NA Inc. (米国)

Nitta Gelatin Canada, Inc. (カナダ)

Nitta Gelatin USA, Inc. (米国)

Nitta Casings Inc. (米国)

Nitta Casings (Canada) Inc. (カナダ)

上海新田明膠有限公司 (中国)

株式会社アイビス

株式会社アルマコーポレーション

株式会社ニッタバイオラボ

彦根ゼラチン株式会社

Nitta Gelatin Holding, Inc. (米国)

Nitta Hong Kong Ltd. (中国)

ポスティック・ニッタ株式会社

Nitta Gelatin India Ltd. (インド)

広東百維生物科技有限公司 (中国)

新寿サービス株式会社

Bamni Proteins Ltd. (インド)

Reva Proteins Ltd. (インド)

役員(2012年6月27日現在)

代表取締役社長………… 曾我 憲道

取締役 専務執行役員 … 佐々木 恒雄

取締役 執行役員 …… 山木 健男

取締役 執行役員 …… 尾形 浩一

取締役 執行役員 …… 大塚 龍郎

取締役…………… 新田 浩士

取締役(社外)………… 石原 真弓

常勤監査役…………… 立松 信三

監査役(社外)………… 酒谷 佳弘

監査役(社外)………… 東郷 重興

上席執行役員…………… レイモンド・メルツ

上席執行役員…………… 西尾 敏一

執行役員…………… 中井 康之

執行役員…………… 竹宮 秀典

執行役員…………… 山本 祐二

執行役員…………… 玉岡 徹

執行役員…………… 小田 義高

発行可能株式総数 50,000,000株
 発行済株式の総数 15,770,074株(自己株式 162株を含む)
 株主数 3,812名
 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
アイビーピー株式会社	2,946,316株	18.68%
ニッタ株式会社	840,014	5.33
株式会社三菱東京UFJ銀行	621,074	3.94
株式会社三井住友銀行	600,286	3.81
新田ゼラチン従業員持株会	460,800	2.92
有限会社以和貴	391,000	2.48
石塚産業株式会社	382,014	2.42
株式会社りそな銀行	334,672	2.12
新田 浩士	239,474	1.52
林 正典	221,400	1.40

(注) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(162株)を控除した株式数を基準に算出し、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

株式分布状況

	株主数	株式数
個人	96.9%	41.5%
事業法人	1.7	38.9
証券会社	0.6	1.3
金融機関	0.4	17.5
海外・他	0.4	0.8
合計	3,812名	15,770千株

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
公告掲載方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第2部
証券コード	4977
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
(郵便物送付先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	フリーダイヤル 0120-782-031
(インターネットホームページ)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

新田ゼラチン株式会社 大阪市浪速区桜川4丁目4番26号

株主優待のご案内

株主の皆様のご支援に感謝すると共に、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ること、および当社グループの事業へのご理解を賜りたく、株主優待を実施いたします。

〈株主ご優待制度の内容〉

対象の株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記載された当社株式1単元(100株)以上を保有する株主様を対象といたします。

優待内容

当社子会社の株式会社ニッタバイオラボが販売する、当社の消費者向け商品(健康食品、化粧品、ゼラチン等)、もしくは、当社商品のお買物優待券をご所有株式数に応じて贈呈いたします。



株主優待商品例
(3,000円相当)
※諸般の事情により、商品セットの内容を変更することがございます。

ホームページのご紹介

 **検索**  **新田ゼラチン** <http://www.nitta-gelatin.co.jp/>

当社はホームページにおきましても最新のトピックスをはじめとして、IR情報や会社情報など様々な情報をご案内しております。